

## 教育成果等に関する就職先からの意見聴取結果

### 1. 意見聴取施設

過去に本学卒業生が10名以上就職している施設（1施設）より、意見聴取（対面調査）を実施した。

### 2. 意見聴取日

令和7年9月9日

### 3. 意見聴取の目的

学内教職員、学生による内部評価に加え、本学卒業生を受け入れていただいている就職先から、卒業生の状況に基づいた意見を伺うことで、本学の教育活動等について客観的視点を含めた検証を行い、今後の教育活動の改善につなげる。

### 4. 主な調査内容

- 1) 本学卒業生についてディプロマ・ポリシー（最終頁参照）に記載する能力・資質が身についているか
- 2) 上記1)を踏まえて、本学教育活動（カリキュラム内容、教育内容等）への評価や要望

### 5. 意見聴取結果

#### 1) 本学卒業生についてディプロマ・ポリシーに記載する能力・資質が身についているか

- ・患者様を尊重した看護の提供などが行われている。
- ・しっかりと自分の意見が言え、優秀な人材が多い
- ・入職1年未満の退職者はいない

#### 2) 本学教育活動（カリキュラム内容、教育内容等）への評価や要望

- ・ディプロマ・サプリメントの取組などをされていることは良い取組だと思う。
- ・ディプロマ・ポリシーの評価を、キャリアラダーにとりいれられるように大学と協働していきたい。

#### 【総括】

今回の調査において、本学出身の入職者は、旧カリキュラムのディプロマ・ポリシーである「全人的ケア/ケアリング」が実践できる看護師であること、看護専門職者としてのキャリアを発展させる努力もしているとの評価をいただいた。

今後、本学でのディプロマ・ポリシーの到達度を入職後の看護師のキャリア開発ラダーへ活かしていきたいとのご意見もいただいた。

<参考；本学看護学部ディプロマ・ポリシー：2021 年度以前入学生>

キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解し、看護専門職を目指す者として、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングの実践者としての態度を身につけているとともに、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を具えていることを求め、以下のとおりディプロマ・ポリシーを定めます。

#### －知識・理解－

1. キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解している。
2. 豊かな人間性の基礎となる教養を身につけている。
3. 看護実践に必要な基本的かつ専門的知識を身につけている。

#### －思考・判断－

4. 論理的、科学的思考に基づいて看護実践の場における諸問題を発見することができる。
5. 看護実践の場における問題を解決するための実践的な判断力を身につけている。

#### －技能－

##### <汎用的技能>

6. 国際化する現代社会において必要とされる基本的な語学力・コミュニケーションスキルを身につけている。
7. 情報化する現代社会において必要とされる I C Tを用いて多様な情報を適切に収集・分析し、モラルに則って効果的に活用することができる。

##### <専門的技能>

8. 看護実践に必要な基本的技術を身につけている。
9. 科学的根拠に基づいた看護を提供できる。
10. 看護専門職を目指すものとして、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングを実践できる。

#### －関心・意欲・態度－

11. 多様な価値を持つ人々を尊重しようとする姿勢を身につけている。
12. 保健医療福祉にかかわる多職種と協調し、リーダーシップやフォロワーシップを発揮する能力を身につけている。
13. 地域社会や国際社会の発展を追究し、主体的に貢献する姿勢を身に着けている。
14. 看護学の発展に寄与することを望み、生涯に亘り主体的に探求する姿勢を身につけている。